

WWF Japan: 家庭の中の化学物質

気になるトピックの解説

◆TOPICS◆ 気になるトピック

<p>⑦ 環境ホルモンは怖くない?</p>  <p>最近ヤスコでも取り上げないし、「環境ホルモンは騒音だった」との裏切りの声も聞かれます。恐んとうに騒音なくてもいいのでしょうか?</p> <p>世界の環境ホルモンに関する最新の科学的研究を収録した報告書(2002年、WHO/UNEP刊)によれば、環境ホルモンによる野生動物への影響は激かな影響があるが、人の健康影響に関しては十分な証拠がそろっていないとしています。ただし健康については、影響を確かめることの困難さに加え、基礎的データが欠けていることなどによるもので、心配がなくなったのではなく、先般や昨年への影響、遺伝汚染懸念など、むしろ心配すべきことがあるに増えたといえ方が正しいでしょう。特に動物や海洋生物の影響の問題は、早急に対応し、少しでも安心して子育てができるようにして欲しいものです。</p>	<p>⑧ 使いきりタイプの家庭用殺虫剤</p>  <p>家庭用の殺虫剤、特に「1回使いきりタイプ(くん煙や加熱蒸散させるもの)」の殺虫剤は、多量の化学物質を一度に家中に散布します。環境生活センターのテストでは、使いきりタイプ殺虫剤1箇分の殺虫成分量はスプレー式の殺虫剤の1本分に相当し、換気後も特に家中に成分が付着します。100㎡程度の床面に散布する量は、成人の1日摂取許容量近くになることもあります。ハイハイする赤ちゃんがいる家庭やアレルギー体質の人には特に注意を避けましょう。もし使うのであればあとで十分ふきとり掃除を。</p>	<p>⑨ 抗菌グッズ</p>  <p>下着、履下から繊維製品、文房具、電気製品にいたるまで、あちこちで「抗菌グッズ」が目に付きます。特に抗菌性天竺織O・SET案件のあとで急激に増えました。抗菌効果がないもの、抗菌加工の必要な製品も目立つようになったため最近では注意もできていますが、抗菌効果はありません。抗菌品や繊維に使用されている成分を食む危険性が避けられ、健康被害が起きる場合もあります。</p> <p>抗菌グッズは健康な皮膚に存在する常在菌のバランスを崩したり、新菌を定着させるおそれも指摘されています。「なくても困らない」もののために、必要ない化学物質にさらされることは避けたいです。その抗菌グッズがほんとうに必要なのか、買う前によく考えましょう。</p>
--	---	---

◆TOPICS◆ 気になるトピック

<p>⑩ 水道水と化学物質</p>  <p>水道水に含まれる物質で問題となるものに、トリハロメタンがあります。</p> <p>前による影響としては、がん、奇形、中絶、流産などへの影響や生殖機能低下からの無量の増加によるもので、根本的な解決は影響がその他の物質の害に劣ることですが、個人負担になることもあって、あまり進んでいないようです。</p> <p>トリハロメタンは水道水の塩素消毒の過程で生じるクロロホルムやブロモホルムなどの物質で、有機性が疑われています。濃縮過程で水質の低下によって水道水に加えられた塩素が増加し、それによってトリハロメタンの生成が加速となってきました。加える塩素の量を減らせばトリハロメタンの生成を抑えることができますが、これにより十分な殺菌力を保てないという問題があります。</p>	<p>⑪ 魚と化学物質</p>  <p>金魚は田舎人にとって大切なタンパク源で、私たちの生活にとって欠かせないものですが、その種類によっては水銀、ダイオキシン、PCBをはじめとして環境中のさまざまな有害化学物質を蓄積することが知られています。濃縮の例として、厚生労働省は平成15年に魚類の水銀濃度調査の結果から、魚類の中でも比較的汚染の可能性がある魚種が調査を受けたとき採「イルカ、サクラ、サメは週0.5〜1回、メカジキ、キンメダイについては、週を1回以下とすることが望ましい」という摂取量を10〜10gとして)と発表しました。なぜかより身近なマダコは例年から減らされてきましたが、魚類は水産物で有害が強く同様の注意が必要です。(注: マダコのような外洋性の魚に食われる水産物は注意されています。)</p>	<p>⑫ 隣の工場はどんな有害化学物質を排出しているの?</p>  <p>大きな工場などが隣近所にある場合、一体どんな有害化学物質がどのくらい排出されているのか気になりますね。そのような情報が得ても入手できる新しい制度が最近動き始めたものご存じでしょうか。「化学物質排出管理情報連携」のことで、逸散PRT法(Pollutant Release and Transfer Register)と呼ばれる、事業者が一年間に排出した有害化学物質の量を国に報告し、それを国が集計して公表する制度です。ただし、個別の事業者の排出データを得るには国に書面で申請を添えて請求しなければなりません。有害化学物質削減ネットワークというNPOのホームページ(http://www.toxwatch.net)なら任意で検索し、データも得ることが出来ます。</p>
--	--	--